

2023年3月期第2四半期 決算説明会

2022年11月18日

株式会社エヌアイディ

(証券コード：2349)

1．2023年3月期第2四半期連結決算概要

2．2023年3月期通期連結業績見通し

3．株主還元（配当予想）

4．今年度の取り組み（進捗状況）

5．トピックス

付録：会社概要／データ資料

この資料に掲載しております当社の計画及び予想、戦略などは、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後の日本経済や情報処理業界の動向、新たなサービスや技術の進展、不確定要素などにより、実際の業績とは大きく異なる可能性がございます。あらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

1. 2023年3月期第2四半期連結決算概要

2. 2023年3月期通期連結業績見通し

3. 株主還元（配当予想）

4. 今年度の取り組み（進捗状況）

5. トピックス

付録：会社概要／データ資料

連結損益計算書

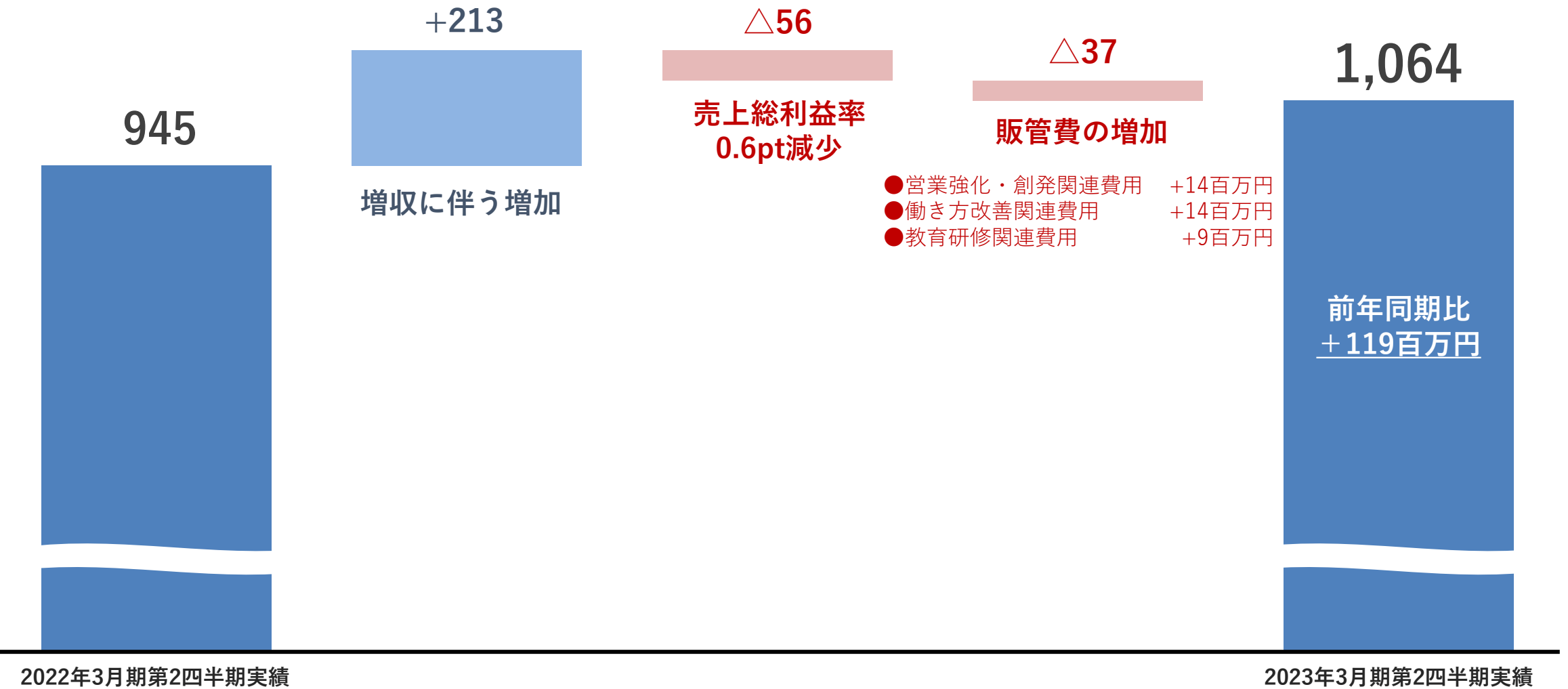
(単位：百万円)

	2022年3月期 第2四半期実績	2023年3月期 第2四半期予想	2023年3月期 第2四半期実績	前期比	予想比
売上高	8,570	8,860	9,478	+10.6%	+7.0%
営業利益	945	840	1,064	+12.6%	+26.7%
営業利益率	11.0%	9.5%	11.2%	+0.2pt	+1.7pt
経常利益	1,094	910	1,156	+5.7%	+27.1%
経常利益率	12.8%	10.3%	12.2%	▲0.6pt	+1.9pt
四半期純利益	720	630	1,014	+40.9%	+61.1%
四半期純利益率	8.4%	7.1%	10.7%	+2.3pt	+3.6pt

営業利益差異分析（前年同期比較）

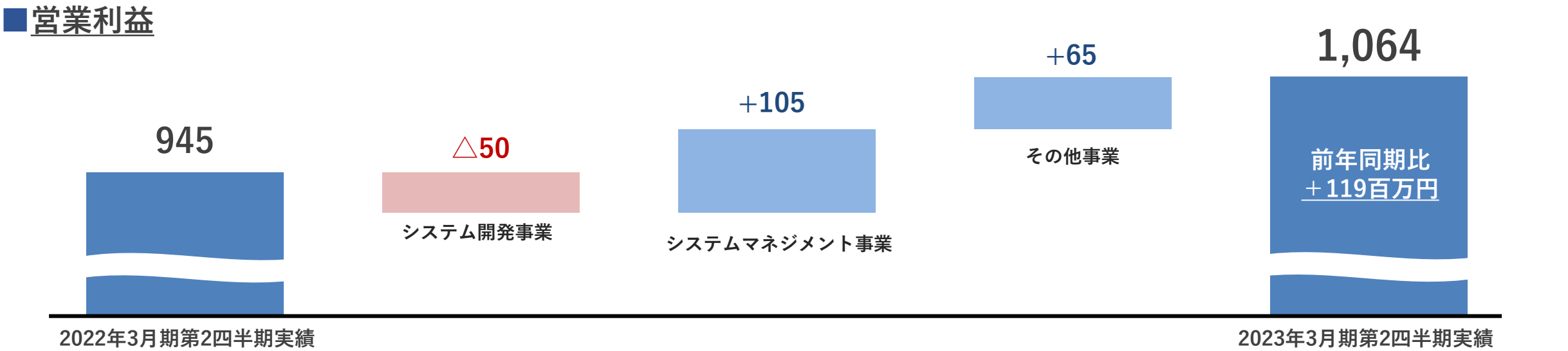
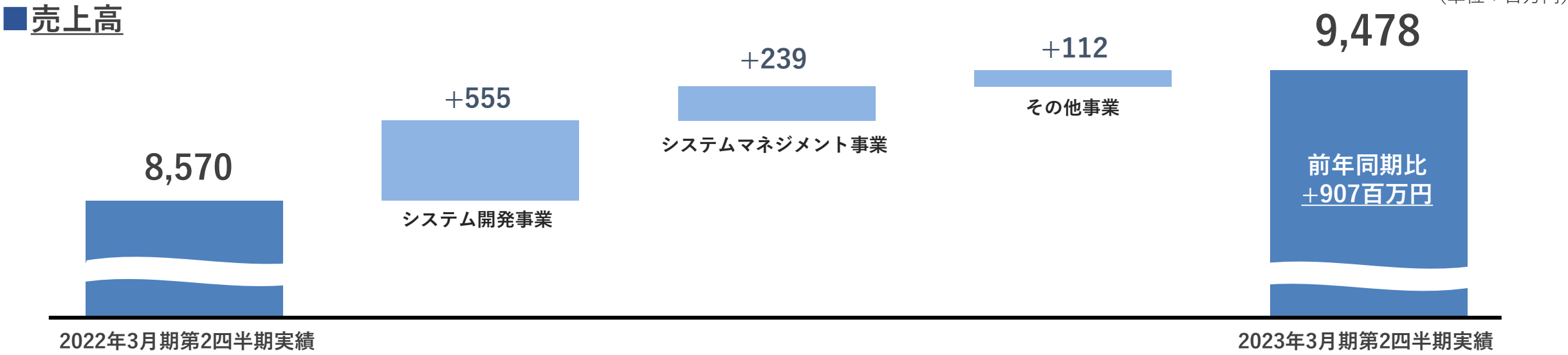
●営業利益は前年同期比+119百万円

（単位：百万円）



売上高・営業利益のセグメント別（前年同期比較）

（単位：百万円）



セグメント別売上・利益構成

(単位：百万円)

	2022年3月期 第2四半期実績			2023年3月期 第2四半期実績			前年同期比		
	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益	営業 利益率
システム 開発事業	5,696	761	13.4%	6,252	710	11.4%	+9.7%	△6.6%	△2.0pt
システム マネジメント事業	2,168	119	5.5%	2,407	225	9.4%	+11.0%	+88.2%	+3.8pt
その他事業	705	60	8.6%	818	126	15.4%	+16.0%	+107.0%	+6.8pt
連結計	8,570	945	11.0%	9,478	1,064	11.2%	+10.6%	+12.6%	+0.2pt

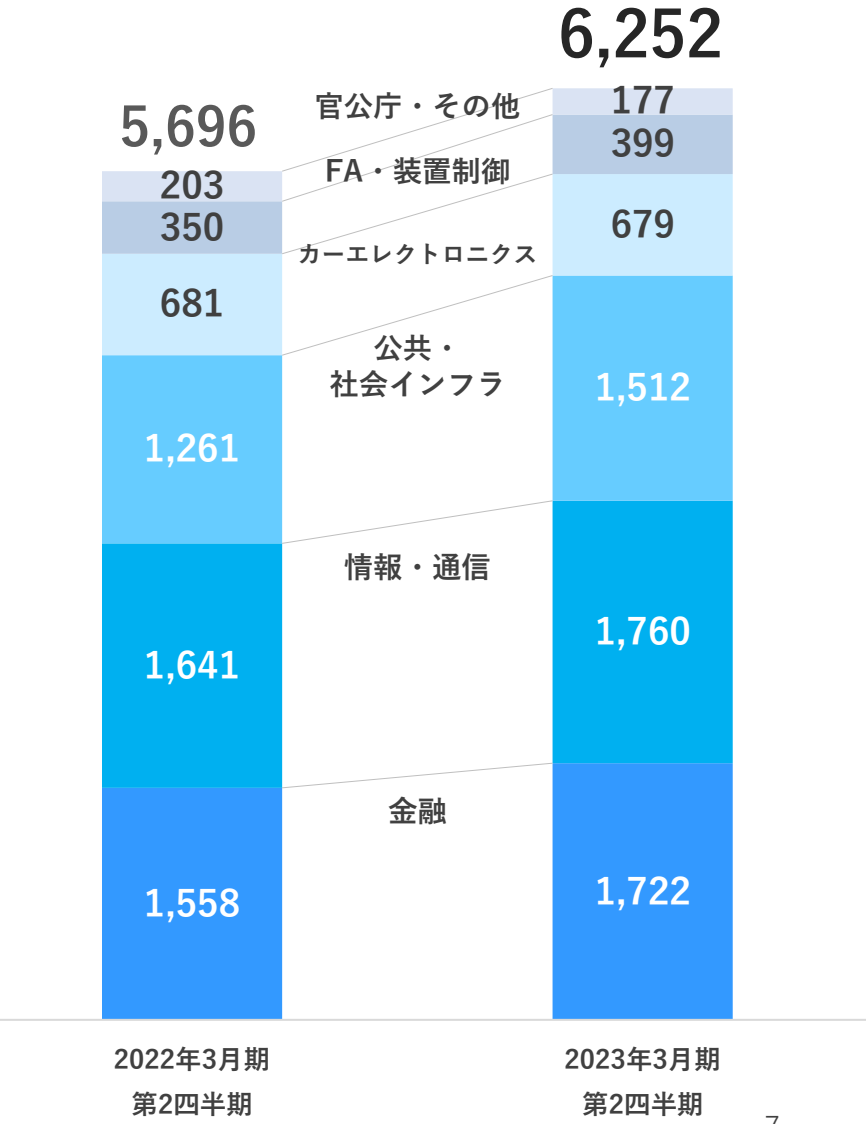
売上高・営業利益

	2022年 3月期2Q	2023年 3月期2Q	前期比	要因
売上高	5,696	6,252	+ 9.7%	一部案件の採算性悪化、原価増の影響により減益
営業利益 (営業利益率)	761 (13.4%)	710 (11.4%)	△ 6.6%	

分野別売上高

金融	1,558	1,722	+ 10.5%	生保・共済系が好調に推移
情報・通信	1,641	1,760	+ 7.3%	ストレージ、マルチメディア配信が好調に推移
公共・社会インフラ	1,261	1,512	+ 19.9%	電力、シェアサービス関連が大きく増加
カーエレクトロニクス	681	679	△ 0.4%	—
FA・装置制御	350	399	+ 13.8%	スマートロック関連の受注が増加
官公庁・その他	203	177	△12.4%	—

売上高・棒グラフ



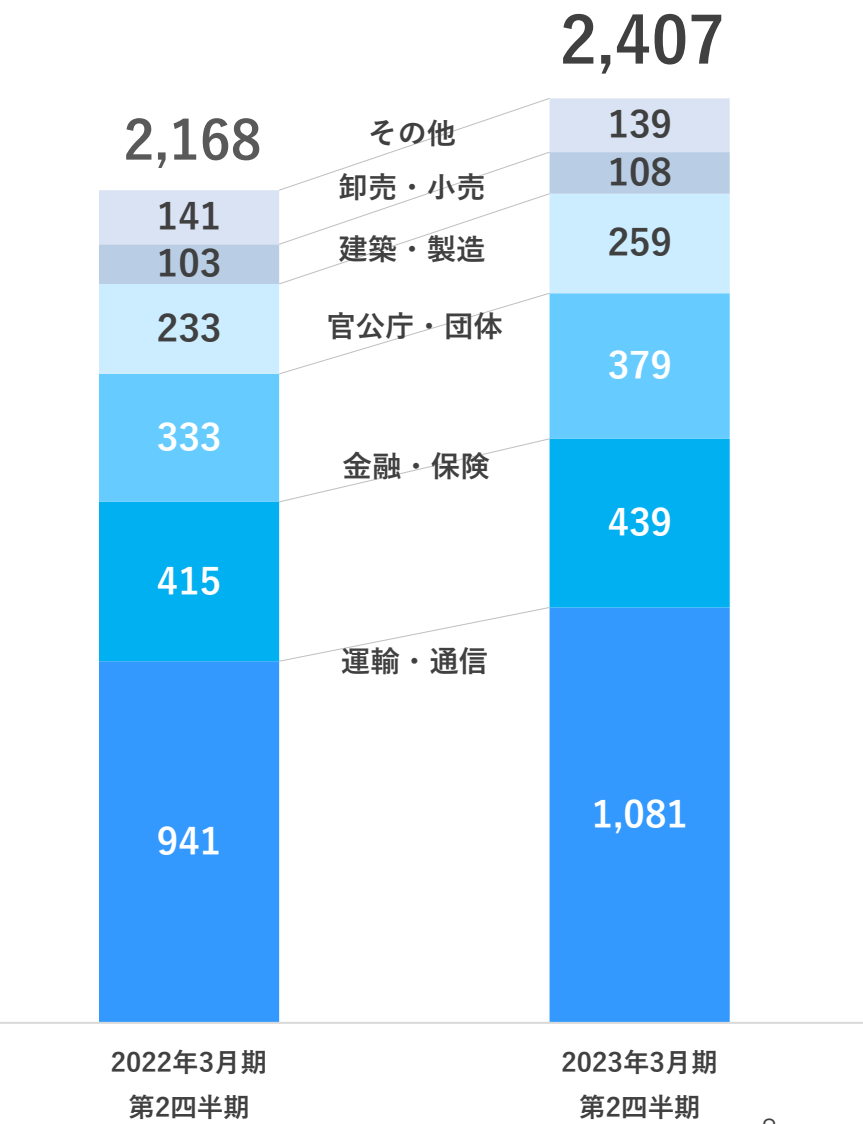
売上高・営業利益

	2022年 3月期2Q	2023年 3月期2Q	前期比	要因
売上高	2,168	2,407	+ 11.0%	主要顧客からの受注が回復し 増収増益
営業利益 (営業利益率)	119 (5.5%)	225 (9.4%)	+ 88.2%	

分野別売上高

運輸・通信	941	1,081	+ 14.8%	新型コロナウイルスの影響が 緩和し受注が回復
金融・保険	415	439	+ 5.8%	技術者のスキルアップ転換 (運用⇒構築系)
官公庁・団体	333	379	+ 13.8%	地方自治体からの受注が増加
建築・製造	233	259	+ 10.8%	住宅系メーカーが好調に推移
卸売・小売	103	108	+ 5.2%	新規顧客獲得により増加
その他	141	139	△ 1.1%	—

売上高・棒グラフ



その他事業

(単位：百万円)

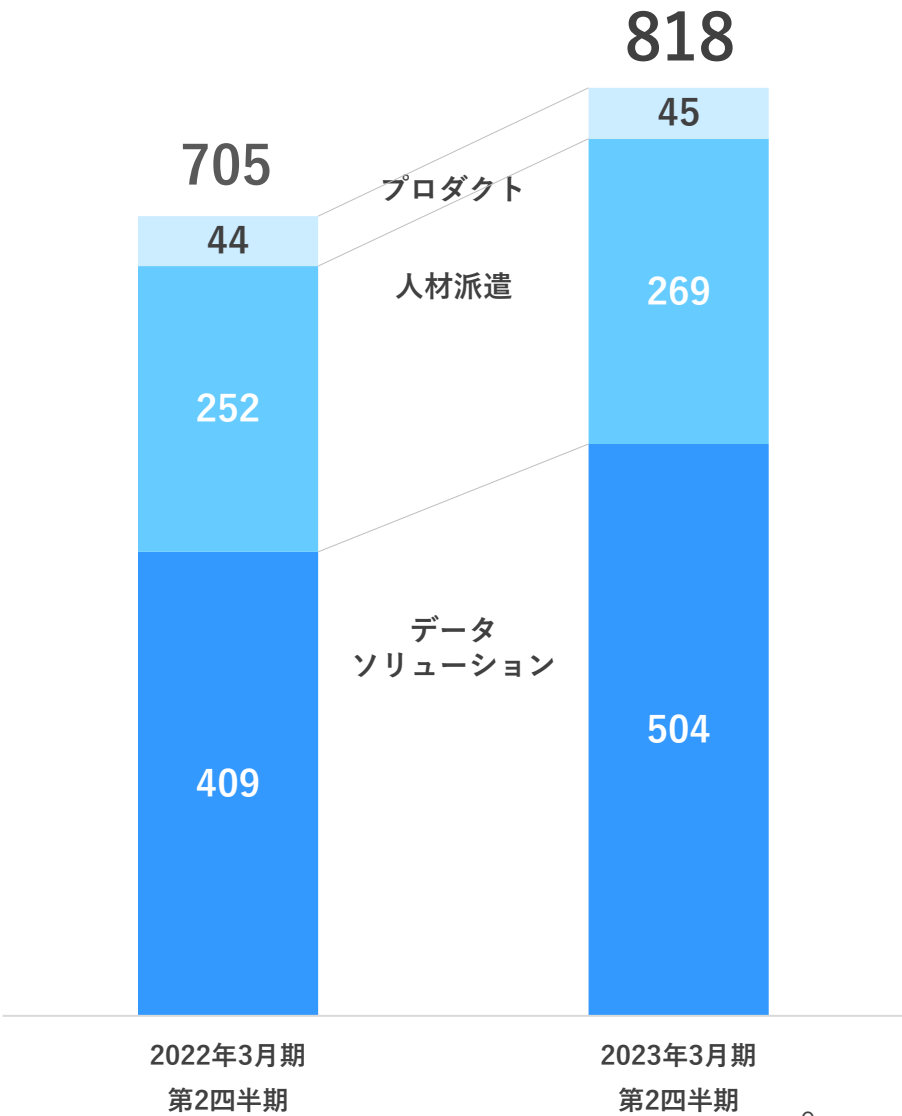
■売上高・営業利益

	2022年 3月期2Q	2023年 3月期2Q	前期比	要因
売上高	705	818	+ 16.0%	データソリューション事業の特需案件により増収増益
営業利益 (営業利益率)	60 (8.6%)	126 (15.4%)	+ 107.0%	

■分野別売上高

データソリューション	409	504	+ 23.6%	新型コロナウイルス関連の保険給付金申請入力作業が寄与
人材派遣	252	269	+ 6.4%	—
プロダクト	44	45	+ 2.8%	—

■売上高・棒グラフ



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2022年3月期 年度末	2023年3月期 第2四半期末	増減額	主な増減要因
流動資産	15,468	15,871	+ 402	現金及び預金 + 626 売掛金 △403 仕掛品 + 209 投資有価証券 + 177
固定資産	6,435	6,611	+ 175	
資産合計	21,904	22,482	+ 578	
流動負債	2,801	2,642	△158	買掛金 + 30 未払金 △179
固定負債	3,002	3,017	+15	
負債合計	5,803	5,660	△142	利益剰余金 + 759
純資産合計	16,101	16,821	+ 720	
負債純資産合計	21,904	22,482	+ 578	

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2022年3月期 第2四半期実績	2023年3月期 第2四半期実績	主な要因
営業活動によるCF	870	933	税金等調整前四半期純利益 + 1,500 売上債権の減少 +445 棚卸資産の増加 △209 法人税等の支払額 △542
投資活動によるCF	△89	△45	投資有価証券の取得による支出 △623 投資有価証券の売却及び償還による収入 +604
財務活動によるCF	△612	△261	配当金の支払額 △254
現金及び現金同等物の増減額	168	626	
現金及び現金同等物の期末残高	11,237	12,409	

1. 2023年3月期第2四半期連結決算概要

2. 2023年3月期通期連結業績見通し

3. 株主還元（配当予想）

4. 今年度の取り組み（進捗状況）

5. トピックス

付録：会社概要／データ資料

国内経済

●大企業業況判断DI（全産業）

業況判断は3期連続で悪化。新型コロナウイルス感染症の影響は和らぐも、ウクライナ情勢に起因した資源価格の高騰や想定上回る円安が重荷。

（日銀短観2022年9月調査）

国内IT市場

●2022年国内ITサービス市場見通し

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中堅中小企業のITサービス支出の回復の遅れ、半導体／部材の不足の影響など下振れリスクがあるものの、市場全体としては、堅調に成長する見込み。

（IDC Japan2022年9月5日発表）

当社への影響

●システム開発事業は順調に推移も一部に不透明感

開発案件は概ね順調に推移するものの、業種によっては不透明感が増していくものと見込む。

●システムマネジメント事業は緩やかな回復を見込む

一部主要顧客のシステム投資は不透明な状況ではあるが、緩やかな回復を見込む。

2023年3月期通期連結業績見通し

(単位：百万円)

	2022年3月期 実績	2023年3月期 通期予想	前期比
売上高	18,251	18,700	+448
営業利益	2,226	2,100	△126
経常利益	2,466	2,250	△216
当期純利益	1,631	1,540	△91

2023年3月期通期連結業績見通し（セグメント別）

（単位：百万円）

	2022年3月期 実績		2023年3月期 通期予想		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
システム開発事業	12,182	1,689	12,660	1,640	+477	△49
システム マネジメント事業	4,546	341	4,510	320	△36	△21
その他事業	1,522	191	1,530	140	+7	△51
連結計	18,251	2,226	18,700	2,100	+448	△126

通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢、原材料価格の上昇、為替変動等の影響により、顧客の業種によっては不透明感が増していることから、前回予想を変更していません。業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

1. 2023年3月期第2四半期連結決算概要

2. 2023年3月期通期連結業績見通し

3. 株主還元（配当予想）

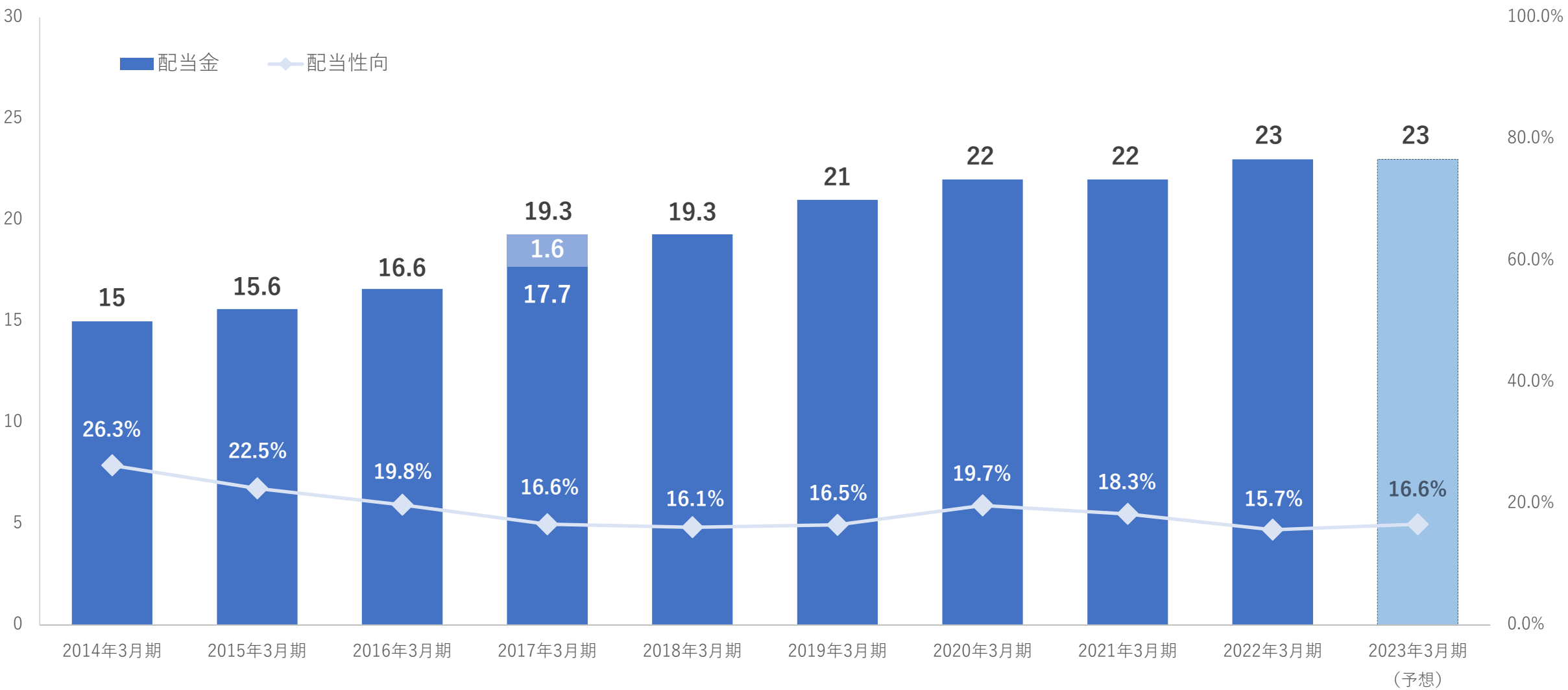
4. 今年度の取り組み（進捗状況）

5. トピックス

付録：会社概要／データ資料

株主還元（配当予想）

●今期の業績予想を踏まえ、期末配当予想を1株あたり23円といたします。



1. 2023年3月期第2四半期連結決算概要

2. 2023年3月期通期連結業績見通し

3. 株主還元（配当予想）

4. 今年度の取り組み（進捗状況）

5. トピックス

付録：会社概要／データ資料

新型コロナウイルス感染症の影響・ウクライナ情勢など
VUCA※の時代

モットー

『まっすぐむきあう』

既存ビジネス

DXを推進する
ICTサービスの拡大
・深化と進化

新規ビジネスの探索

ICTナレッジを基盤とした
プラットフォーム型
ビジネスの創出

※不確実性が高く将来の予測が困難な状況であることを示す造語。「Volatility（変動性）」「Uncertainty（不確実性）」「Complexity（複雑性）」「Ambiguity（曖昧性）」の頭文字を並べたもの。

DXを推進するICTサービスの拡大・深化と進化

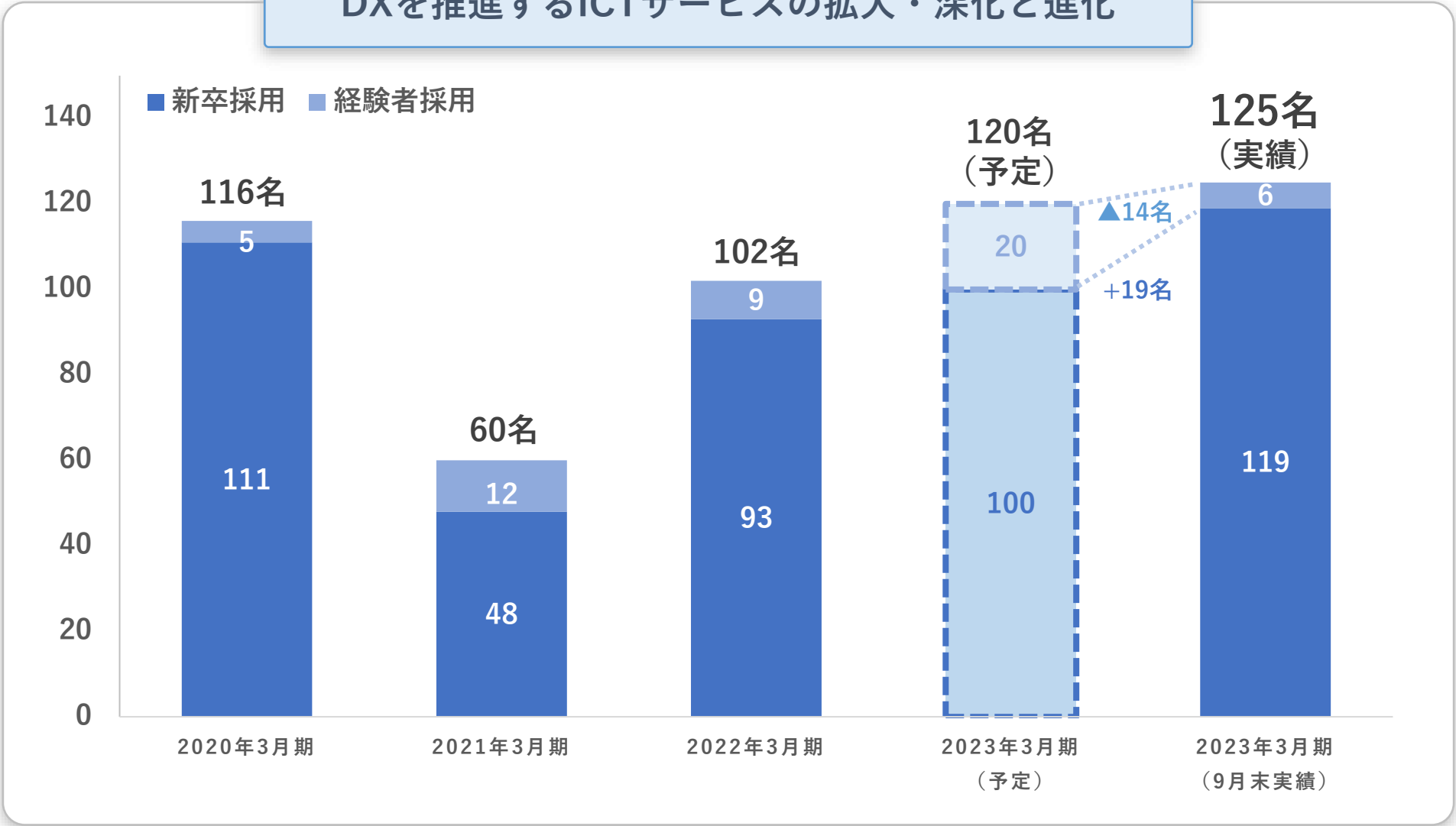
● ワンストップサービスの拡大・深化と進化

- インサイドセールスの推進
- 紹介型営業の強化
- 現場営業の強化

● 採用の拡大

今年度の取り組み（採用状況）

DXを推進するICTサービスの拡大・深化と進化



今年度の取り組み（新規ビジネスの探索）

ICTナレッジを基盤としたプラットフォーム型ビジネスの創出

●まち歩きサービス

誘客、回遊性向上を目的とした「まち歩きミッション」
「デジタルスタンプラリー」を試行。

まち歩きミッション



デジタルスタンプラリー



①まち歩きミッション

映画のプロモーションから地域（佐原地域）のプロモーションに転化。
今後は他地域への展開も進める。

②デジタルスタンプラリー

「かき氷コレクション」のノウハウを横展開。横浜エリアでもサービス提供予定。

●佐原デジタルマップ

誘客、利便性向上を目的とした「佐原デジタルマップ」をリリース。
従来のマップではカバーし切れない、即時性のある地域情報（当日イベント、混雑状況など）をマップ内に表示。

近隣店舗情報



駐車場混雑情報



①千葉県助成事業として佐原商工会議所と協力。

②今後は掲載コンテンツの拡充を図りつつ、他地域への拡大を目指す。

ICTナレッジを基盤としたプラットフォーム型ビジネスの創出

●佐原のあしたPROJECT

佐原を舞台に、地域の様々な課題に対して、これからのローカルビジネスを共創する実践型プログラム。
伝統や地域資源、ネットワーク、デジタル技術を組み合わせて、同じ志をもつ仲間たちとともに、地域の活性化に挑戦。

スタートアップ！ローカルビジネス



**佐原のあした
PROJECT**

- ✓ これからのローカルビジネスを見つけだす
- ✓ 独自の発想やアイデアを実践してみる
- ✓ デジタル技術で課題を解決していく



佐原のあした
応募
総額
100万円

■講座（第1ステージ）※10月1日終了
地域を元気づけるための「プランニング」「デジタルテクノロジー」
「エリアブランディング」を幅広く学び、実践プランを磨き上げる。
10月1日に12チームがプランを発表。6チームを選出し、第2ステージへ。

■実践（第2ステージ）
優秀なプランを発表したチームが、当社の伴走支援のもと社会実験に挑戦。

受講風景



受講生の皆様



1. 2023年3月期第2四半期連結決算概要

2. 2023年3月期通期連結業績見通し

3. 株主還元（配当予想）

4. 今年度の取り組み（進捗状況）

5. トピックス

付録：会社概要／データ資料

テニックス株式会社の株式の取得（子会社化）に関するお知らせ



2022年11月15日開催の取締役会において、株式会社NTTドコモよりテニックス株式会社（以下、「テニックス」）の全株式を取得し、完全子会社化することについて決議いたしました。

●株式取得の理由

当社グループは企業理念として、「<ヒューマンウェア>人が真ん中のしあわせな社会を知恵と技術で拓いていきます。」を掲げております。当社グループの使命は、ITを駆使して人と情報技術が融合したより良い社会の形成を具現化していくことであると認識しており、顧客の価値実現に貢献するために、常に顧客の一步先を見通し付加価値を提供していくことを経営の基本方針としております。

テニックスは、ECサイト構築ソリューション「ECVenus」を用い、ECサイトの構築提案から、導入支援、インフラ構築、カスタマイズ開発、保守運用支援までワンストップサービスとして提供しているほか、自社開発の製品・サービスも有しており、顧客からも高い評価を得ております。テニックスが加わることで、当社グループのIT技術を活かした事業領域が更に拡大し企業価値の向上に資すると考え、本件株式取得を決定いたしました。

●異動する子会社（テニックス株式会社）の概要

(1) 名称	テニックス株式会社
(2) 所在地	東京都渋谷区笹塚一丁目64番8号 Daiwa笹塚ビル 5階
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 菊地 忍
(4) 事業内容	1. 自社製品・サービス開発事業 2. ECサイト構築・開発・支援事業 3. お客様向け受託開発支援事業 4. 先端技術・ソリューション開発支援事業 5. IDCソリューション事業
(5) 資本金	4,225万円
(6) 設立年月日	1988年4月30日

●今後の見通し

本件株式取得により、当該会社は当社の連結子会社となります。

なお、本件による2023年3月期の当社連結業績に与える影響は、軽微であると見込んでおります。

ご清聴ありがとうございました

1. 2023年3月期第2四半期連結決算概要
2. 2023年3月期通期連結業績見通し
3. 株主還元（配当予想）
4. 今後の事業展開（進捗状況）
5. トピックス

付録：会社概要／データ資料

主要な経営指標推移

(単位：百万円)

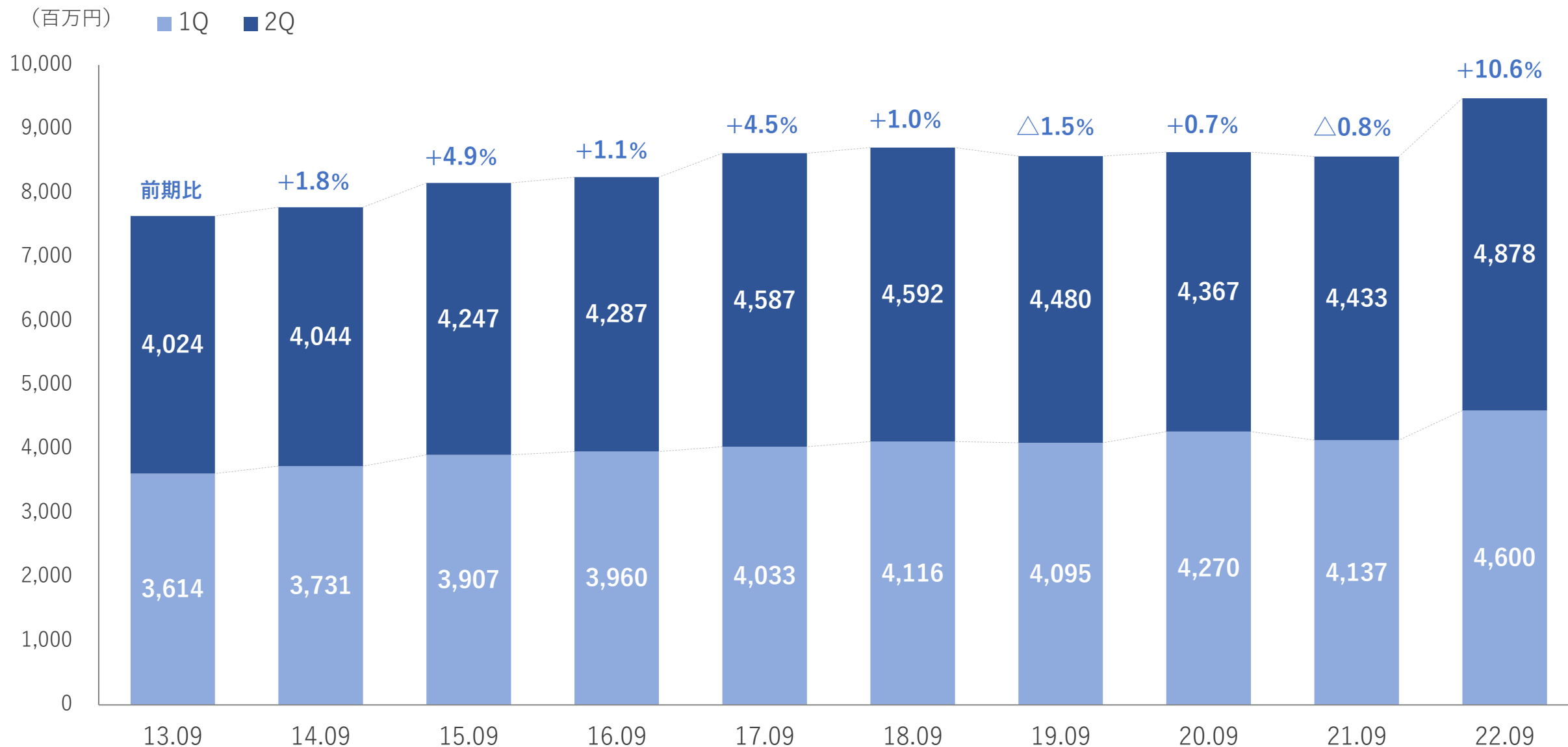
	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期 (予想)
売上高	17,964	18,017	17,684	18,251	18,700
増減率	(+0.3)	(+0.3)	(△1.8)	(+3.2)	(+2.5)
営業利益	1,983	1,940	1,870	2,226	2,100
率 (対売上高)	(11.0)	(10.8)	(10.6)	(12.2)	(11.2)
増減率	(+8.6)	(△2.2)	(△3.6)	(+19.0)	(△5.7)
経常利益	2,168	2,279	2,138	2,466	2,250
当期純利益	1,444	1,266	1,363	1,631	1,540
率 (対売上高)	(8.0)	(7.0)	(7.7)	(8.9)	(8.2)
増減率	(+6.0)	(△12.3)	(+7.7)	(+19.6)	(△5.6)
1株あたり当期純利益 (EPS)	127.24	111.53	120.09	145.66	138.67
純資産	12,699	13,588	15,171	16,101	
株主資本利益率(ROE)	12.0	9.6	9.5	10.4	
1株あたり配当額	21円	22円	22円	23円	23円
配当性向	16.5%	19.7%	18.3%	15.7%	16.6%
社員数 (連結)	1,446	1,490	1,530	1,507	
採用人数	92	116	60	102	

22年3月期 第2四半期	23年3月期 第2四半期
8,570	9,478
(△0.8)	(+10.6)
945	1,064
(11.0)	(11.2)
(+22.9)	(+12.6)
1,094	1,156
720	1,014
(8.4)	(10.7)
(+15.7)	(+40.9)
63.78	91.39
15,287	16,821

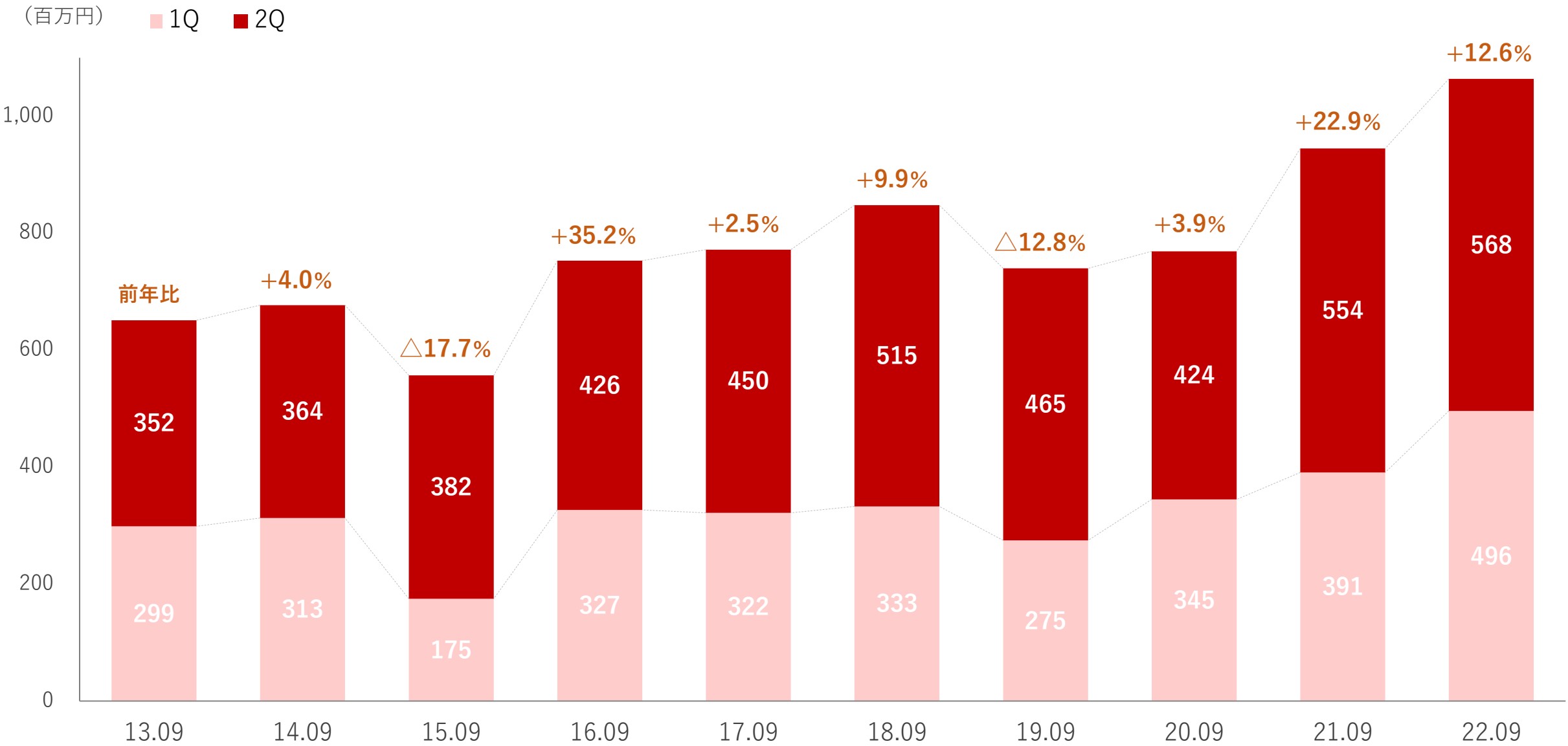
株価と出来高の推移



第2四半期売上高の推移（2013.9～2022.9）

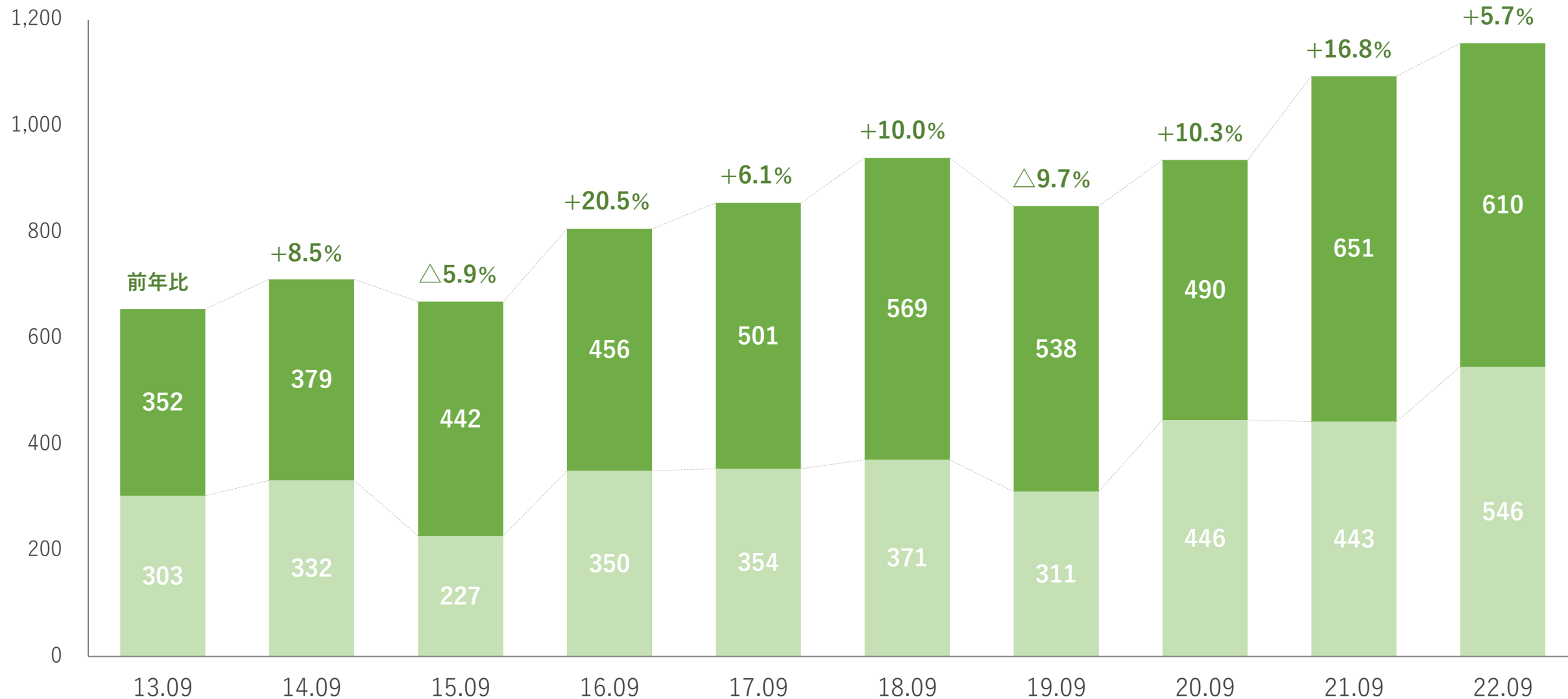


第2四半期営業利益の推移（2013.9～2022.9）

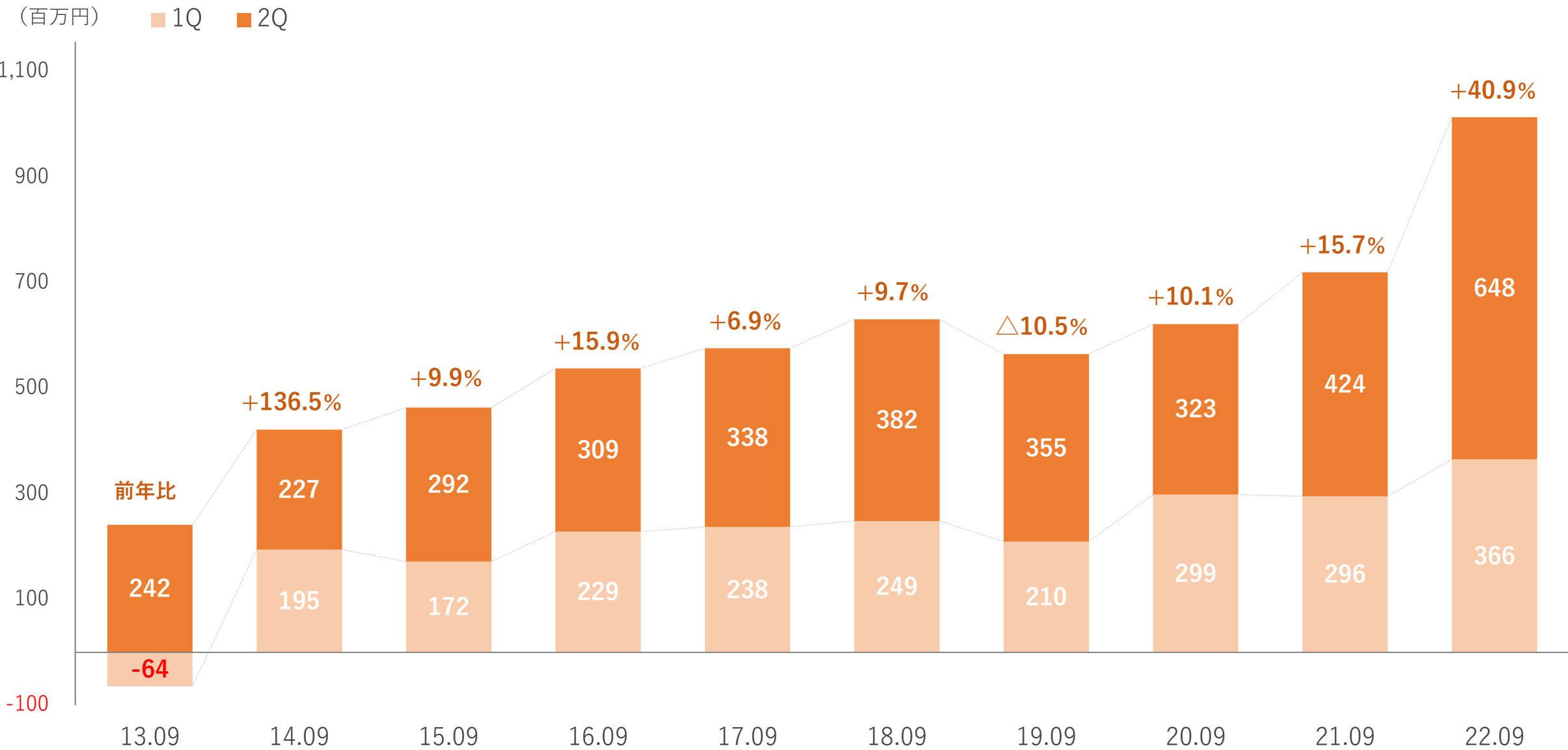


第2四半期経常利益の推移（2013.9～2022.9）

（百万円） 1Q 2Q



第2四半期純利益の推移（2013.9～2022.9）



社名	株式会社エヌアイデイ (英社名：Nippon Information Development Co.,Ltd.)
所在地	東京都中央区晴海1-8-10
設立	1967年5月
資本金	6億5,335万円
事業内容	システム開発事業、システムマネジメント事業、その他事業
連結子会社	3社（NID・MI<千葉県>、NID東北<宮城県>、NID air<東京都>）
社員数	連結：1,570名 単体：1,042名（2022年9月末現在）
発行済株式数	13,109,490株
株主数	709名（2022年9月末現在）

その他事業

エヌアイデイ／NID・MI／NID air

2023年3月期第2四半期 売上高

818百万円

- データソリューション分野
- 人材派遣分野
- プロダクト分野

システムマネジメント事業

エヌアイデイ

2023年3月期第2四半期 売上高

2,407百万円

- 運輸・通信分野
- 金融・保険分野
- 官公庁・団体分野
- 建築・製造分野
- 卸売・小売分野
- その他分野

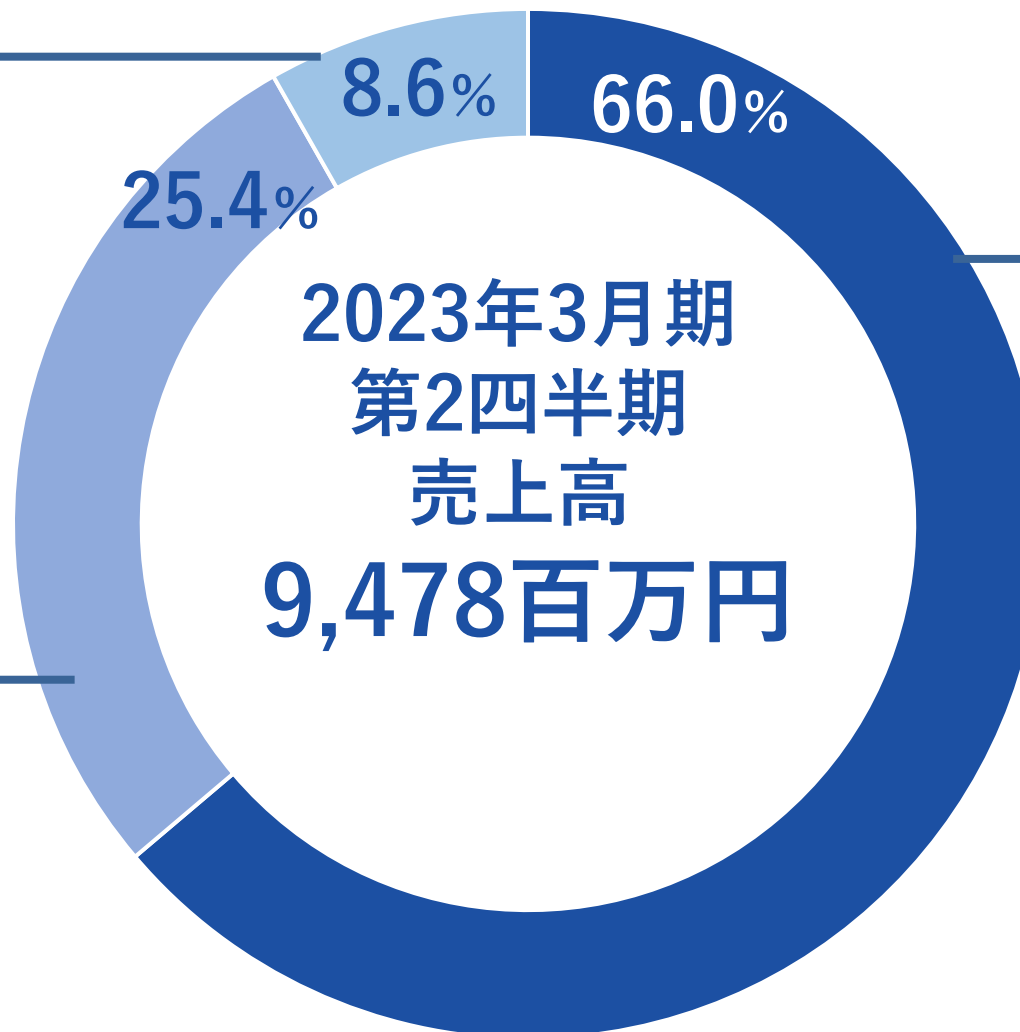
システム開発事業

エヌアイデイ／NID・MI／NID東北

2023年3月期第2四半期 売上高

6,252百万円

- 金融分野
- 情報・通信分野
- 公共・社会インフラ分野
- カーエレクトロニクス分野
- FA・装置制御分野
- 官公庁・その他分野



2023年3月期
第2四半期
売上高
9,478百万円

